



プランタン管弦楽団

創立20周年記念

第20回定期演奏会

PROGRAMME

L.v. ベートーヴェン

バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲 op.43

O. レスピーギ

交響詩「ローマの松」

C. サン＝サーンス

交響曲 第3番 八短調「オルガン付き」op.78

指揮 ● 中村 暢宏 オルガン ● 吉田 文

2022 **7.3** 日 13:00 開場
13:45 開演

愛知県芸術劇場コンサートホール tel 052-971-5609
[地下鉄栄駅より徒歩3分]

全自由席 800円 当日1,000円

チケットぴあ <https://pia.jp/> Pコード [218098]
全国のセブンイレブンでもお買い求めいただけます
愛知県芸術文化センタープレイガイド tel 052-972-0430
名古屋市文化振興事業団チケットガイド(ナディアパーク8F) tel 052-249-9387

主催 ● プランタン管弦楽団 公益財団法人日本交響楽振興財団
後援 ● 愛知県 名古屋市 公益財団法人名古屋市文化振興事業団 中日新聞社
*未就学児の方はご入場いただけません *託児サービスはありません

お問合せ ● 050-6871-7553 プランタン管弦楽団
<https://orchestreprintemps.com/> since-2000@orchestreprintemps.com

KEIRIN
 競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>



ブランタン管弦楽団は2000年に結成されたアマチュアオーケストラです。毎年夏に定期演奏会を行っており、今年は第20回定期演奏会を開催します。団の節目の演奏会にふさわしいよう華やかな曲目を選曲いたしました。一人でも多くの方に音楽を楽しんでいただくことを目指し、日々練習に取り組んでおります。団員一同、皆様のご来場を心からお待ちしております。



第19回定期演奏会 2021.6.20 愛知県芸術劇場コンサートホール



指揮 中村 暢宏
Nobuhiro NAKAMURA

1973年東京生まれ。1996年愛知県立芸術大学卒業(ヴィオラ専攻)。これまでに宮松重紀、河津政實、田久保裕一、秋山和慶、A.ポリシュク、V.シナイスキーの各氏に指揮法を師事。ヴィオラ奏者として、東京フィル、名古屋フィルなど各地のオーケストラで活動。指揮者に転身後はプロ・アマ数多くのオーケストラを指揮。オペラやバレエにおいても成果を上げ、その活動の場は日本国内におさまらず、ロシア、ブルガリア、オーストリア(ウィーン楽友協会)での海外公演において、ショスタコーヴィチ、ベートーヴェン、マーラー、伊福部昭の大曲・難曲を指揮し、絶賛を受ける。



オルガン 吉田 文
Aya YOSHIDA

名古屋生まれ。中学卒業と同時に単身渡独。ドイツ国立ケルン音楽大学カトリック教会音楽科、ならびにパイプオルガン演奏科を卒業。A級カトリック教会音楽家ドイツ国家資格およびドイツ国家演奏家資格(パイプオルガン)取得。名古屋女子大学准教授、南山大学非常勤講師。南山大学エクステンションカレッジ、朝日カルチャーセンター講師。平成27年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞、令和3年度名古屋市芸術奨励賞受賞。

● L.v. ベートーヴェン

バレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲

Ludwig van Beethoven 1770-1827 Germany
Overture to Ballet 《The Creatures of Prometheus》 op.43 (1801)

天空の神ウラノスと大地の女神ガイアの間にも生まれたプロメテウス。人間に対して容赦のないゼウスから火を奪い人間に与えるとともに知性や感情も教えたというギリシャ神話を基に、ベートーヴェンがバレエ音楽として作曲した。1801年の作品。

● O. レスピーギ

交響詩「ローマの松」

Ottorino Respighi 1879-1936 Italy
Pines of Rome (1924)

イタリアの作曲家レスピーギが、サンタ・チェチーリア音楽院の教授をしていた1924年に作曲。イタリアでは、松がローマ街道やアッピア街道に街路樹としても植えられており、この曲は題名の通りローマの松とその周りの風景を、場所や時間を変えて表現した交響詩となっている。

● C. サン=サーンス

交響曲第3番「オルガン付き」

Camille Saint-Saëns 1835-1921 France
Symphony No.3 c-moll op.78 (1886)

ピアニスト、オルガニスト、指揮者としても活躍したフランスの作曲家サン=サーンスが1886年51歳の時に作曲。ピアノやオルガンの特性を知り尽くしたサン=サーンスだからこそ書けた壮麗で美しい作品。1872年に作曲した「死の舞踏」にも使った、グレゴリオ聖歌の「怒りの日」の主題が形を変えて何度も登場する。



オータムコンサート 2021.10.10 名古屋市芸術創造センター

《新型コロナウイルス感染拡大予防についてのお願い》

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来場の際は次のことにご協力ください。
 - 入口での検温(37.5度以上の方は入場いただけません)
 - 入口での手指の消毒 ● マスクの着用
 - チケットへの連絡先のご記入
 以上を遵守いただけない場合は、入場をお断りさせていただきます。
- 混雑を避けるため、チケットは可能な限り事前にお求めいただき、あらかじめ連絡先をご記入ください。
- 演奏会場では入場者数の制限を行う場合があります。詳細はWEBサイト等で案内します。
- 出演者への花束や贈り物はご遠慮願います。
- 未就学児はご入場いただけません。託児サービスはありません。